

第 23 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム
国際シンポジウム Neurobiology of Opioid Receptor Symposium

2002 年 8 月 23 日 (金) 8 月 24 日 (土)

講演論文集

The 23rd JNRC Proceedings

Neurobiology of Opioid Receptor Symposium Abstract Book

2002

Tokyo

第 23 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム

サテライト国際シンポジウム Neurobiology of Opioid Receptor Symposium

日時

2002 年 8 月 23 日 (金) 9:40-21:45

8 月 24 日 (土) 9:20-18:00

;サテライト国際シンポジウムは 8 月 24 日 (土) 13:00-17:00

会場

文京シビックセンター

〒112-0033 東京都文京区春日 1-16-21

TEL: 03-3812-7111(代)

世話人

花岡一雄 (代表: 東大院・医・麻酔)

植田弘師 (長崎大院・薬・分子薬理)	鵜飼 良 (名城大・薬・薬品作用学)
岡 哲雄 (東海大・医・生体構造機能)	小川節郎 (日本大・医・麻酔)
勝部伸夫 (小野薬品工業・創薬三研)	亀井淳三 (星薬大・薬物治療)
岸岡史郎 (和歌山県立医大・薬理)	倉石 泰 (富山医薬大・薬・薬品作用)
櫻田 忍 (東北薬大・機能形態)	櫻田 司 (一薬大・生化学)
佐藤公道 (京大院・薬・生体機能解析)	下山直人 (国立がんセンター・疼痛治療)
鈴木 勉 (星薬大・薬品毒性学)	高橋正克 (長崎大・薬・医療情報解析学)
長瀬 博 (東レ・医薬研)	長久 厚 (ファイザー製薬・中研)
中村秀雄 (帝国製薬・研究開発技術顧問)	並木昭義 (札幌医大・医・麻酔)
野崎正勝 (生産開発科学研)	吉川正明 (京大院・農・食品生物科学)

第 23 回 鎮痛薬・オピオイドシンポジウム事務局

東京大学大学院医学系研究科外科学専攻生体管理医学講座麻酔科学教室

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL: 03-5800-9259 (事務局)、FAX: 03-5800-9258 (事務局)

TEL: 03-5800-8668 (医局)、FAX: 03-5800-8938 (医局)

E-mail: MENO-ANE@h.u-tokyo.ac.jp

HP: <http://square.umin.ac.jp/opioid23/>

サテライト国際シンポジウム事務局

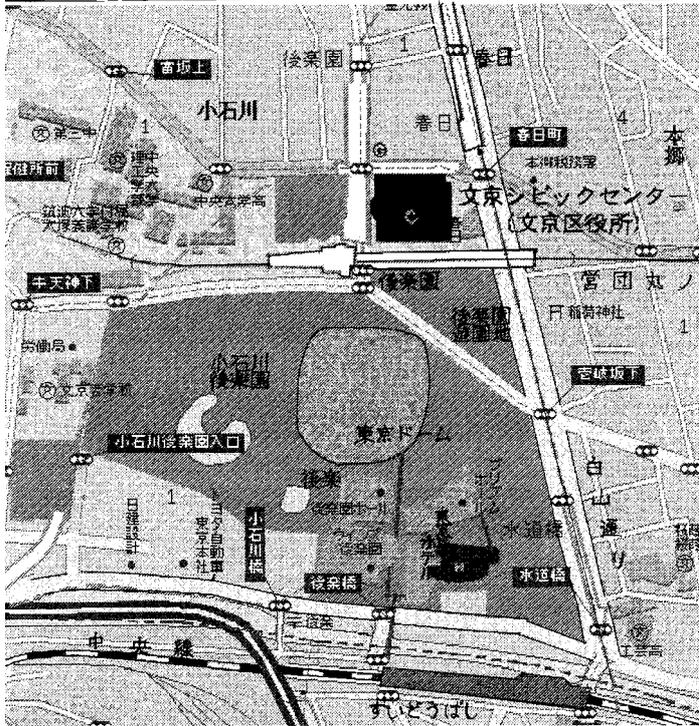
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学研究室

〒852-8521 長崎市文教町 1-14

TEL: 095-847-1111(内線 2540), FAX: 095-844-4248,

E-mail: opioid@ml.nagasaki-u.ac.jp

HP: <http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/neuro/neuro-sympo/>



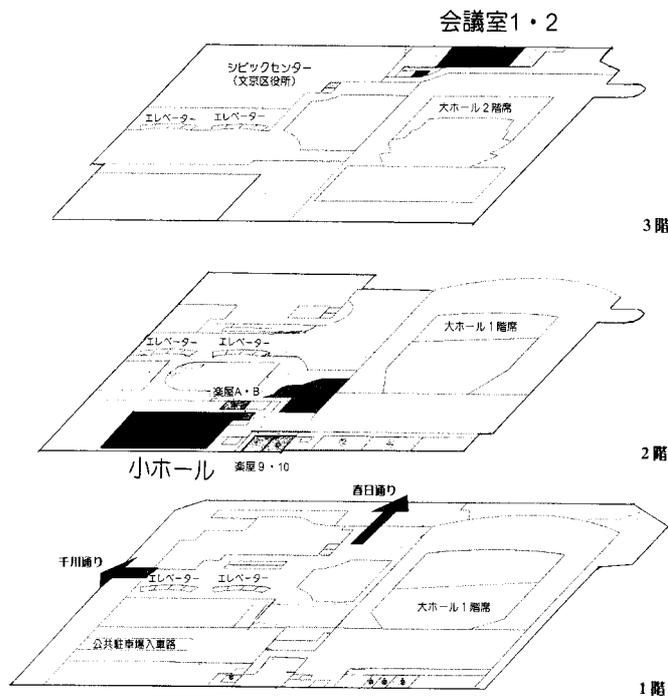
文京シビックセンター
 都営地下鉄大江戸線・三田線
 春日駅 徒歩1分(直結)
 営団地下鉄南北線・丸ノ内線
 後樂園駅 徒歩1分
 JR総武線 水道橋駅 徒歩8分

東京駅からお越しの方は...
 東京駅(営団地下鉄丸ノ内線) 後樂園駅

羽田空港からお越しの方は...
 羽田空港駅(東京モノレール) 浜松町駅
 (JR山手・京浜東北線 東京・上野方面)
 秋葉原(JR総武線 新宿方面) 水道橋

羽田空港駅(京浜急行、京急蒲田駅乗り換え)
 泉岳寺駅(都営浅草線浅草方面) 三田駅
 (都営三田線高島平方面) 春日駅

東京ドームホテル行きのリムジンバス
 羽田発 10:15, 12:20, 14:20, 16:20
 (定員制・予約センター03-3665-7220)



会場内案内

2F 小ホール(講演会場)

2F 楽屋9・10(シンポジウム打ち合わせ)
 2F 楽屋A(試写室)・楽屋B(本部)

3F 会議室1・2(ポスター会場)

26F スカイホール(懇親会会場)

お知らせとお願い

● 参加者の方へ

- ・ 受付：8月23日9時より2F小ホール前のロビーにて行います。参加費と引き替えに参加証と名札をお受け取り下さい。当日は必ずプログラムと講演論文集をご持参下さい。予め郵送した以外の講演論文集は1冊1,500円にて販売致します。
- ・ 参加費：会員 5,000円（未納の方は年会費2,000円も同時に受け付けます。）
非会員 8,000円（講演論文集代込み）
学生 3,000円
- ・ 懇親会費 6,000円
- ・ サテライト国際シンポジウムにのみご参加の場合、当日参加費2,000円が必要です。（第23回オピオイドペプチドシンポジウム参加者は無料です）

● 口演演者の方へ

- ・ 一般演題(口演)は討論を含め20分です。基本的には、講演時間15分と討論時間5分ですが、時間の配分を変えたい場合は予め座長にお伝えください。
- ・ スライド、PCプロジェクターの試写は、小ホール隣の楽屋Aでお願いします。
- ・ 講演30分前までにスライド、メディア等を受付にご提出ください。
- ・ **重要!** Power point projector を使われる方は、8月22日17時(必着)までに発表用Power point ファイルの一部または全部を、添付ファイルの形で E-mail いただくか、メディアに保存しファイルを事務局にご郵送いただければ、事務局にて予め動作確認を致します。当日のトラブル防止のため、この事前確認の励行をお願い致します。

E-mail : MENO-ANE@h.u-tokyo.ac.jp

郵送：〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1、東京大学医学部附属病院麻酔科
第23回鎮痛薬・オピオイドシンポジウム事務局

● 座長の方へ

各セクションの進行は座長の先生方にお任せいたします。今回のプログラムはかなりタイトになっておりますが、円滑な進行と活発な討論をお願い致します。

● 討論される方へ

質疑、討論は座長の指示に従い、所属と氏名を明らかにしたうえで行って下さい。

● ポスター発表される方へ

- ・ パネルは、8月23日ランチョンセミナー後13:00-14:00の間に設置致します。
- ・ 8月23日15時までに(8月24日のみの参加の方は当日9時20分までに)ポスターの掲示をお願い致します。
- ・ ポスターの撤去は8月25日18:00までをお願い致します。
- ・ 8月24日10時30分から11時30分までポスター演題の自由討論を行いますので、この時間帯に発表者は必ず自分のポスターの前にて質疑応答に応じて下さいます様お願い致します。

● 懇親会について

懇親会は8月23日(金)18時20分よりシビックセンター26階のスカイホールにて開催致します。多数の皆様のご参加をお待ち致しております。会費6,000円は受付にてお支払い下さい。

- ランチョンセミナーに参加される方へ
 - ・ 8月23日は協和発酵株式会社・ヤンセンファーマ株式会社、8月24日は塩野義製薬株式会社の協賛により、がん疼痛治療の最前線で活躍されている先生方によるランチョンセミナーを予定しております。
 - ・ 会場の小ホールでの飲食は禁止されておりますので、40分ほどのご講演が終了した後に会場出口または会議室1・2（ポスター会場）の前でお弁当を配らせて頂きます。食券を配布し後の交換とさせていただきます可能性もあります。
 - ・ 3階会議室1・2（ポスター会場）、2FやB2Fのロビーなどでの飲食は可能ですので、適宜分散してお食いただけますようお願い致します。
 - ・ ゴミは主催者による回収が義務付けられていますので、弁当の空箱は配られた場所にご持参ください。
 - ・ 会場の制約上何かとご不便をおかけ致しますが、何卒宜しくご協力下さい。

- ワークショップについて
 - ・ 8月23日(金)懇親会終了後、20時30分頃より約1時間の予定で講演会場にてワークショップを開催致します。多数ご参加下さい。
 - ・ 話題提供者は、岐阜大学医学部・麻酔・蘇生学の土肥修司教授、島根医科大学麻酔学教授の御両名で、痛みをめぐるの話題をご提供いただく予定です。

- 世話人会について

下記の要領で世話人会を開催致します。ご関係の先生方のご参加をお願い致します。

日時：平成14年8月22日(木) 19:00-20:30
 場所：学士会館分館
 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東大赤門となり
 Tel: 03-3814-5541
 営団地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩5分

- 年会費の納入について

鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム会員年会費2,000円を未納の方は参加費納入と同時に受付にてお支払い下さい。また、入会されていない方はこの機会にぜひご入会下さい。

- 論文集について
 - ・ 本講演論文集に掲載の論文は、原稿提出の遅れなどの影響で多少順番が前後しております。悪しからずご了承下さい。
 - ・ 追加の論文集を所望される向きには、実費1,500円にて配布致します。

第 23 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムプログラム

8月23日(金)			8月24日(土)	
小ホール	会議室	スカイホール	小ホール	会議室
9:15 開場、受付開始	15:00 ポスター掲示		9:10 開場	
9:40 開会の辞 9:50 オーラル セッション 1			9:20 招待講演 2	
11:40 ランチョンセミナー-1 昼食				10:30 ポスター セッション 自由討論
13:10 シンポジウム			11:40 ランチョン セミナー-2 昼食	17:00 ポスター撤去
15:40 招待講演 1			13:30 サテライト 国際シンポジウム	
16:50 オーラルセッション 2			17:10 世話人会報告 17:30 次期世話人代表挨拶 17:50 閉会の辞	
			18:20 懇親会	
20:30 ワークショップ				

8月23日(金)

09:15 開場、受付開始

09:40 開会の辞
世話人代表 花岡一雄

【オーラルセッション 1】 9:50-11:30 座長 長瀬 博(東レ) 野崎正勝(生産開発科学研)

- 09:50 Bisphenol A の妊娠期および授乳期曝露による morphine 誘発数種薬理作用に及ぼす影響
O1 水尾圭祐、成田 年、坂田 守、鈴木 勉
星薬科大学薬品毒性学教室
Effects of prenatal and neonatal exposure to bisphenol A on the morphine-induced several pharmacological effect, Keisuke Mizuo, et al, Department of Toxicology, Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Science 1-3
- 10:10 ストレスおよび CRH による鎮痛と内在性オピオイドペプチドとの関係
O2 岡 哲雄、小林広幸、小坂賢也、新野康弘、岩尾佳代子、金井昌之、赤堀一仁、高橋 滋、中林 大、金 幸祿、荒井美治
東海大学医学部薬理学教室
Relation between stress- and CRH-induced analgesia and endogenous opioid peptides, Tetsuo Oka, et al, Department of Pharmacology, School of Medicine, Tokai University 4-6
- 10:30 慢性疼痛下におけるモルヒネによる呼吸抑制作用の変化
O3 亀井淳三、松縄保宏、圖子田康
星薬科大学薬物治療学教室
Modulation of morphine-induced respiratory depression by painful neuropathy
Junzo Kamei, et al, Department of Pathophysiology & Therapeutics, Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 7-9
- 10:50 オピオイド 受容体作動薬による抗うつ作用
O4 齋藤顯宜、木村祐治、桑谷ひふみ、鈴木知比古、河合孝治、田中利明、成田 年*、溝口広一**、亀井淳三***、長瀬 博
東レ(株)医薬研究所、星薬科大学薬品毒性学教室*、
ウイスコンシン医科大学麻醉科**、星薬科大学薬物治療学教室***
Antidepressant effects of the opioid δ agonist, Akiyoshi Saitoh, et al
Toray industries, Inc. Pharmaceutical Research Laboratories 10-13
- 11:10 Prepulse inhibition 障害に対する endomorphin-1 の影響
O5 鶴飼 良、奥田亜美、間宮隆吉
名城大学薬学部薬品作用学教室
Effects of endomorphin-1 on impairments of prepulse inhibition in mice, Makoto Ukai, et al, Department of Chemical Pharmacology, Faculty of Pharmacy, Meijo University 14-17

【ランチョンセミナー 1】 11:40-12:20 座長 並木昭義 (札幌医大)

がん疼痛治療におけるフェンタニルの位置づけ
的場元弘 (北里大学麻酔科)

Role of fentanyl in management of cancer pain, Motohiro Matoba
Department of Anesthesiology, School of Medicine, Kitasato University

【シンポジウム 「Which drug for which pain ?」】 13:10-15:30

座長 林田眞和 (東京大学) 佐藤公道 (京都大学)

- 13:10 各種慢性疼痛に対するモルヒネの効果 - DCT の結果から
S1 有田英子、林田眞和、矢島 直、澤村成史、関山裕詩、山本博俊、齋藤勇一郎、
中川陽子、目野亜希、花岡一雄 (東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター)
The analgesic effect of morphine on clinical chronic pain, Hideko Arita, et al, Department of
Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 148-154
- 13:40 薬理学的疼痛機序判別試験(ドラッグ・チャレンジ・テスト, DCT)の意義と臨床応用
S2 小川節郎 (日本大学医学部麻酔科)
Selection of drugs for the treatment of neuropathic pain -Pharmacological tests in pain analysis-
Setsuro Ogawa, Department of Anesthesiology, Nihon University School of Medicine 155-158
- 14:10 帯状疱疹痛および帯状疱疹後痛モデルマウスの疼痛関連反応に対するモルヒネの効果
S3 高崎一朗¹、野島 浩史¹、白木 公康²、倉石 泰¹ (¹富山医科薬科大学薬学部薬品
作用学、²富山医科薬科大学医学部ウイルス学)
Effect of morphine on acute herpetic and postherpetic pain-related responses in mice
Ichiro Takasaki, et al, Department of Applied Pharmacology, Faculty of Pharmaceutical
Sciences, Toyama Medical and Pharmaceutical University 159-162
- 14:40 神経傷害モデルマウスにおける末梢性モルヒネ鎮痛効果の欠如
S4 植田弘師、川島敏子、井上誠 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学研究室)
Lack of peripheral morphine analgesia in nerve injury type of neuropathic model mice
Hiroshi Ueda, et al, Division of Molecular Pharmacology and Neuroscience
Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences 163-165
- 15:10 総合討論

【招待講演 1】 15:40-16:40 座長 並木昭義 (札幌医科大学)

オピオイドローテーションの臨床的意義
樽見葉子

Physician Consultant, Regional Palliative
Care Program, Grey Nuns Community Hospital

Clinical implication of opioid rotation

Yoko Tarumi, Regional Palliative Care Program, Grey Nuns Community Hospital

172-177

【オーラルセッション2】17:00-18:30 座長 岡 哲雄(東海大学) 鷓飼 良(名城大)

- 16:50 **神経因性疼痛下におけるモルヒネ誘発報酬効果の抑制に対する ERK (extracellular
O6 signal regulated kinase) の役割**
尾崎 覚、成田 年、成田道子、尾崎雅彦、白藤明日香、鈴木 勉
星薬科大学薬品毒性学教室
The role of ERK (extracellular signal regulated kinase) in the inhibition of the morphine-induced rewarding effect under neuropathic pain, Satoru Ozaki, et al, Department of Toxicology, School of Pharmacy and Pharmaceutical Science, Hoshi University 18-21
- 17:10 **モルヒネ禁断場所嫌悪反応における扁桃体中心核の役割**
O7 **中川貴之、渡辺 豪、山本梨絵、南 雅文、佐藤公道**
京都大学薬学研究科生体機能解析学分野
Role of the central nucleus of amygdala in morphine withdrawal-induced conditioned place aversion in rats, Takayuki Nakagawa, et al, Department of Molecular Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University 22-27
- 17:30 **扁桃体外側基底核へのモルヒネ微量注入による疼痛関連嫌悪反応の抑制**
O8 **南 雅文、山本潤希、町田泰一、谷本 幸、中川貴之、佐藤公道**
京都大学薬学研究科生体機能解析学分野
Suppression of Pain-induced Aversive Response by Microinjection of Morphine into the Basolateral Amygdaloid Nucleus, Masabumi Minami, et al, Department of Molecular Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University 28-32
- 17:50 **2,6-dimethyl-L-tyrosine(Dmt)のオピオイドミメティクス開発への応用**
O9 **岡田芳男^{1,2}、津田裕子^{1,2}、宮崎杏奈¹、横井利夫^{1,2}、藤田快男¹、藤沢豊¹、塩谷公隆¹、
佐々木有亮³、安保明博³、Sharon D. Bryant⁴、Lawrence H. Lazarus⁴**
神戸学院大学薬学部¹・ハイテクリサーチセンター²、東北薬科大学³、米国立環境保健研究所⁴
Application of 2,6-Dimethyl-L-tyrosine (Dmt) to the Development of Opioid Mimetics
Yoshio Okada, et al, Faculty of Pharmaceutical Sciences¹ and High Technology Research Center², Kobe Gakuin University, 33-37

【懇親会】18:20-20:20

文京シビックセンター26F スカイホールにて
参加費 6000 円

【ワークショップ】20:30-21:45 座長 花岡一雄(東京大学)

「臨床現場での痛みをめぐる」

話題提供 土肥修司(岐阜大学医学部麻酔・蘇生学)

齋藤洋司(島根医科大学麻酔学)

Pain, analgesia and anesthesia

Shuji Dohi, Department of anesthesiology and intensive care, Gifu University School of Medicine

Yoji Saitoh, Department of anesthesiology, Shimane Medical University

8月24日(土)

9:10 開場

【招待講演2】 9:20-10:20 座長 花岡一雄(東京大学)

9:20 Expectations of Peripheral Opioid Analgesia
J.G. Collins
Department of Anesthesiology, Yale University School of Medicine 179-180

【ポスターセッション】 10:30-11:30(自由討論)、23日 15:00-24日 17:00(ポスター掲示)

セッション1：非オピオイド鎮痛物質

- P1 **新規ノシセプチン前駆体由来ペプチドの発痛分子メカニズム**
近藤沙織¹、川島敏子¹、井上誠¹、Richard G.Allen²、植田弘師¹
¹長崎大学医歯薬学総合研究科分子薬理学研究
²Center for Research on Occupational and Environmental Toxicology (CROET),
The Oregon Health Sciences University
In vivo signal transduction of novel prepronociceptin-derived peptides
Saori Kondo, et al, Division of Molecular Pharmacology and Neuroscience
Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences 38-40
- P2 **新奇環境における情動行動に対するノシセプチンの効果**
松縄保宏、亀井淳三
星薬科大学薬物治療学教室
Effect of nociceptin on the exploratory behaviors of mice on a hole-board
Yasuhiro Matsunawa, et al, Department of Pathophysiology & Therapeutics, Hoshi
University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Tokyo Japan 41-43
- P3 **N型カルシウムチャンネル阻害薬としてのジヒドロピリジンの鎮痛効果**
**村上 学¹、中川西修²、萩原邦恵³、森 豊樹⁴、柳澤輝行³、北村憲司⁵、
飯島俊彦¹、只野 武²**
¹秋田大学医学部薬理、²東北薬科大学薬理、³東北大学医学部分子薬理、
⁴大塚製薬薬効開拓、⁵福岡歯科大学歯科薬理
Analgesic action of dihydropyridines blocking N-type calcium channels
Manabu Murakami, et al,
Department of Pharmacology, Akita University School of Medicine 44-48
- P4 **カプサイシン受容体 VR1 の PKC リン酸化部位の同定**
沼崎満子、富永 真琴
三重大学医学部第一生理学講座、筑波大学臨床医学系麻酔科
Direct phosphorylation of capsaicin receptor VR1 by protein kinase C α
and identification of two target serine residues, Mitsuko Numazaki, et al
Department Physiology, Mie University School of Medicine 49-53

- P5 **催眠・鎮痛作用を有するウリジン N³位誘導体及びその関連化合物の作用メカニズム (その3) オピオイド受容体との相互作用**
清水寛美¹、木村敏行¹、舟橋達也¹、渡辺和人¹、近藤繁美²、橘囃臣²、Inb Kang Ho³、山本郁男⁴
¹北陸大学薬学部、²日水製薬(株)、³ミシシッピ大医学部
⁴九州保健福祉大学保健科学部
 Mechanism of uridine and arabinofuranosyluracil derivatives having analgesic and hypnotic effects. Their interactions with opioid receptors, Tomomi Shimizu, et al, Department of Hygienic Chemistry, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokuriku University 54-56
- P6 **牛乳 -ラクトグロブリン由来のニューロテンシンアゴニスト -lactotensin の鎮痛作用**
山内玲奈、園田荘司、Yunden Jinsmaa, 吉川正明
京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻
 Antinociceptive activity of β -lactotensin, a neurotensin agonist derived from β -lactoglobulin in bovine milk, Rena Yamauchi, et al, Division of Food Bioscience and Biotechnology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University 57-59
- P7 **ハロセン麻酔と血中タキキニン濃度の変動**
関山裕詩、角田俊信、澤村成史、富岡俊也、有田英子、花岡一雄
東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター
 Serum tachykinins levels are not elevated during emergence from halothane-anesthesia in normal rats. Hiroshi Sekiyama, et al, Department of Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 60-63
- セッション2：オピオイド鎮痛物質**
- P8 **内因性抗鎮痛系の活性化に及ぼす通電鍼刺激の影響**
深澤洋滋、岸岡史郎、前田武彦、清水典史、山本千鶴子、山本博之
和歌山県立医科大学薬理学教室
 Effects of electroacupuncture on the activation of endogenous anti-analgesic system in rats Yohji Fukazawa, et al, Department of Pharmacology, Wakayama Medical University 64-68
- P9 **U50488H による熱性痛覚過敏の機序 - μ 及び ORL1 受容体との関連の検討 -**
関山裕詩¹、内海 潤²、角田俊信¹、花岡一雄¹
¹東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、² 東レ株式会社医薬企画部
 Thermal Hyperalgesia Following Peripheral U50488H Administration Is Not Mediated by μ -opioid or ORL1 Receptors Systems, Hiroshi Sekiyama, et al, Department of Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 69-72
- P10 **神経傷害モデルマウスにおける末梢性モルヒネ鎮痛効果の欠如**
川島敏子、植田弘師、井上誠
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学研究室)
 Lack of peripheral morphine analgesia in nerve injury type of neuropathic model mice Toshiko Kawashima, et al, Division of Molecular Pharmacology and Neuroscience, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences 73-75

- P11 エンドモルフィン誘発性抗侵害作用における D-Pro²-エンドモルフィンの
選択的拮抗性について
櫻田 忍¹、内山弘子¹、渡邊広行¹、溝口広一¹、藤村 努、村山季美枝、櫻田 司²
¹東北薬科大学機能形態学教室、²順天堂大学医学部、²第一薬科大学生化学
Endomorphins analogues containing D-Pro² antagonizes endomorphin antinociception in mice
Shinobu Sakurada, et al, Department of Physiology and Anatomy,
Tohoku Pharmaceutical University 76-80
- P12 モルフィンの副作用におけるモルフィンとモルフィノンの比較
石田 隆、大石哲也、塚原邦浩、山野 茂、竹之下玲子、喜多秀樹、土岐 智
福岡大学薬学部衛生科学教室
Possible involvement of morphinone in appearance of side effects of morphine
Takashi Ishida, et al, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka University 81-84
- P13 モルヒネとモルヒネ-6-グルクロナイドの脳室内投与後の脳内分布の相違
黄倉 崇、込山則行、齋藤正典、藤井亜紀、中西美智、山田静雄、木村良平
静岡県立大学薬学部薬剤学教室
Differential brain distribution of morphine and morphine-6-glucuronide after the
intracerebroventricular injection in rats, Takashi Okura, et al,
Department of Biopharmacy, School of Pharmaceutical Sciences, University of Shizuoka 85-89
- P14 ラビット手術麻酔モデルの開発 - 超短時間作用性 μ -agonist, remifentanil による検討 -
林田真和、福永篤翁、目野亜希、関山祐詩、有田英子、花岡一雄
東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター
A rabbit model for the study of surgical anesthesia-Validation with ultra-short acting
 μ -agonist: remifentanil-, Masakazu Hayashida, et al, Department of Anesthesiology
and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 90-95
- P15 超短時間作用性 μ -agonist: remifentanil の急性耐性発現 - ラビットモデルにおける検討 -
林田真和、福永篤翁、目野亜希、関山祐詩、有田英子、花岡一雄
東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター
Acute tolerance development in ultra-short acting μ -agonist: remifentanil in a rabbit model of
surgical anesthesia/analgesia -, Masakazu Hayashida et al, Department of Anesthesiology
and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 96-99
- セッション3：オピオイド、非オピオイド鎮痛薬の臨床応用**
- P16 開腹術後の持続硬膜外鎮痛の効果 - 手術臓器および薬物による差 -
林田真和、小松郷子、佐藤義明、佐藤泰雄、有田英子、花岡一雄
東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター
Analgesic effects of postoperative continuous epidural analgesia after major abdominal surgery
-Impacts of the surgery type and opioid choice-, Masakazu Hayashida, et al
Department of Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital 100-104

- P17 **術後痛に対する硬膜外オキシコドンとNSAIDの併用**
柳館富美、土肥修司
岐阜大学麻酔・蘇生学
 Postoperative analgesia with epidural oxycodone and NSAID,
 Fumi Yanagidate, et al, Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine,
 Gifu University School of Medicine 105-107
- P18 **帝王切開術におけるクモ膜下モルヒネと持続硬膜外フェンタニルの術後鎮痛効果の比較**
鈴木正寛、佐藤泰雄、広田桂子、林田真和、久米川博之、相川和之、沢木裕子、
河手良一、花岡一雄
NTT 東日本関東病院麻酔科
 Intrathecal morphine and continuous epidural fentanyl for postoperative analgesia after
 cesarean section, Masahiro Suzuki, et al,
 Department of Anesthesiology, Kanto Medical Center NTT EC 108-111
- P19 **硬膜外オピオイドの術後の呼吸に及ぼす影響**
一石典子、林田真和、花岡一雄
聖母病院麻酔科
 Post-operative respiratory function after epidural opioid, Noriko Ichiishi, et al,
 Department of Anesthesiology, Seibo International Catholic Hospital 112-115
- P20 **外傷患者にモルヒネ皮下注入を施行し、疼痛管理を行った5例の検討**
小松孝美、坂本哲也、西田昌道、鈴木聡、花岡一雄
東京大学医学部附属病院救急部
 Pain management with subcutaneous morphine infusion in traumatic patients
 Takami Komatsu, et al, Department of Emergency Medicine,
 The University of Tokyo Hospital 116-118
- P21 **開腹術後鎮痛に対するPCA付き静脈内持続フェンタニルの有効性**
碓井久子、一石典子、内田寛治、斉藤勇一郎、松下英佐子、林田真和、花岡一雄
公立昭和病院麻酔科
 Optimal infusion rate of fentanyl in intravenous patient-controlled analgesia after major
 abdominal surgery, Hisako Usui, et al.
 Department of Anesthesiology, Showa General Hospital, 119-125
- P22 **癌性疼痛患者に対する薬剤管理指導業務の標準化と効率化**
山上潤¹、小原康¹、美濃興三¹、江口久恵¹、斎藤真一郎²、遠藤一司¹
¹ 国立札幌病院 薬剤科、² 国立療養所西新潟中央病院
 Practice in pharmaceutical care for cancer pain, Jun Yamakami, et al,
 Department of pharmacy, National Sapporo Hospital 126-130

- P23 **癌性疼痛患者に対する硬膜外モルヒネ使用量の検討**
**木下 勉¹、菊地博達²、牧 裕一²、市原靖子²、前原康宏²、佐々木順司²、
 亀井俊哉¹**
¹ 特定医療法人愛仁会太田総合病院、² 東邦大学医学部麻酔科学第一講座
 Cancer Pain management with Epidural Morphine, Tsutomu Kinoshita, et al
 Department of Anesthesia, Ohta General Hospital 131-134
- P24 **帯状疱疹後神経痛に対する塩酸クロニジン軟膏の有用性(第2報)**
目野亜希¹、山本博俊¹、林田真和¹、山村喜一²、有田英子¹、花岡一雄¹
東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター¹、東京大学医学部附属病院薬剤部²
 Efficacy of clonidine hydrochloride ointment for treatment of post-herpetic neuralgia
 (The second report), Aki Meno et al, Department of Anesthesiology and Pain
 Relief Center, The University of Tokyo Hospital 135-137
- P25 **リン酸コデイン内服が著効を示した難治性疼痛の一例**
松本真希、並木昭義、本間真理、川股智之、伊藤徹雄、山本浩貴、林路子
札幌医科大学医学部麻酔科
 Effectiveness of Codeine in Chronic Pain – A Case Report-, Maki Matsumoto, et al,
 Department of Anesthesiology, School of Medicine, Sapporo Medical University 138-139
- P26 **静脈麻酔下における過換気によるフェンタニルの鎮痛延長効果**
井手康雄¹、長田理²、藤原治子¹、碓井久子¹、山田芳嗣³、花岡一雄¹
¹東京大学医学部麻酔学教室、²東京女子医科大学麻酔学教室、
³横浜市立大学医学部麻酔科学教室
 Hyperventilation increases the effective time of fentanyl under intravenous anesthesia
 Yasuo Ide, et al, The University of Tokyo, Faculty of Medicine,
 Department of Anesthesiology 140-144
- P27 **Heterologous μ -opioid receptor modification by repeated stimulation of κ -opioid
 receptor: Up-regulation of G-protein activation and antinociception**
 Junaidi Khotib, Minoru Narita, Masami Suzuki, Satoru Ozaki, Yoshinori Yajima
 and Tsutomu Suzuki
 Department of Toxicology, School of Pharmacy and Pharmaceutical Science,
 Hoshi University 145-147
- 【ランチョンセミナー2】 11:40-13:00 座長 土肥修司(岐阜大学)**
 ランチョンセミナー/昼食
在宅ホスピス・緩和ケアにおける疼痛緩和の実際と問題点
川越 厚(グループ・バリアン代表、ホームケアクリニック川越院長)
 Management of cancer pain in outpatients
 Atsushi Kawagoe
 Home Care Clinic Kawagoe 178

【サテライト国際シンポジウム】 13:30-17:00

**Neurobiology of Opioid Receptor Symposium
(オピオイド受容体の神経生物学シンポジウム)**

[主催]

オピオイド受容体の神経生物学シンポジウム実行委員会
実行委員会委員長：植田弘師（長崎大・院）

13:30 Opening Remarks Hiroshi Ueda

[Chairmen] Shinobu Sakurada / Shiroh Kishioka

- 13:35 Involvement of the Endogenous Opioid System in Cannabinoid Rewarding
SS1 Effects and Withdrawal Syndrome
R. Maldonado
Univ Pompeu Fabra, Barcelona, Spain 169
- 14:10 Opioid-Induced Synaptic Plasticity and the Alternation of the Sensitivity
SS2 to Opioid Receptor-Mediated Responses under Chronic Pain State
Minoru Narita and Tsutomu Suzuki
Department of Toxicology, Hoshi University School of Pharmacy,
Tokyo, Japan 171
- 14:30 Opioid Receptor Genes Inactivated in Mice: The Highlights
SS3 Brigitte L. Kieffer
The Faculty of Pharmacy, University Louis Pasteur, Strasbourg, France 168
- 15:05 Neurobiology of Opioid and Plasticity
SS4 – Toward Drug Discovery for the Pain Resistant to Morphine
Hiroshi Ueda
Division of Molecular Pharmacology and Neuroscience
Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences,
Nagasaki, Japan 170
- 15:25 New Drug Targets for Opioid Receptors.
SS5 Christopher J Evans
Neuropsychiatric Institute, UCLA, LA, CA 90024, USA 167
- 16:00 Electrophysiological Characteristic of Corticoaccumbens Synapses in Rat
SS6 Mesolimbic System Reconstructed Using Organotypic Slice Cultures
T. Maeda and S. Kishioka
Department of Pharmacology, Wakayama Medical University 166
- 16:20 Closing Remarks Masamichi Satoh

(国際シンポジウムの進行具合により以下時間変更の可能性あり)

17:10 世話人会報告

17:30 次期世話人代表挨拶
次期世話人代表 亀井淳三

17:40 閉会の辞
世話人代表 花岡一雄

第 23 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムにおいては以下の企業に何らかの形で
ご協賛いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

三共株式会社

株式会社ツムラ

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

大研医器株式会社

住友製薬株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

第一製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

株式会社三和化学研究所

中外製薬株式会社

三菱ウェルファーマ株式会社

鳥居薬品株式会社

日研化学株式会社

小野薬品工業株式会社

大日本製薬株式会社

日本化薬株式会社

山之内製薬株式会社

日本臓器製薬株式会社

アロウジャパン株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

株式会社ディヴィンターナショナル

エーザイ株式会社

武田薬品工業株式会社

日本光電株式会社

ダイナボット株式会社

東レ株式会社

小林メディカル

久光製薬

塩野義製薬株式会社

明治製菓株式会社

協和発酵工業株式会社

大塚製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

丸石製薬株式会社

持田製薬株式会社

日清キョーリン製薬株式会社